



ティーンズのココロ通信 山口市立中央図書館 62号

平成21年 2月 1日 発行 〒753-0075 山口市中園町7-7

TEL: 083-901-1040 FAX: 083-901-1144

Eメール: info@lib-yama.jp



VS大人!

2月といえばバレンタイン! 今からチョコを使ったおいしいレシピを調べている女子の皆さんもいるのでは? チョコといえば、先月からロードショーとなったアレックス・シアラー原作の映画『チョコレート・アンダーグラウンド』。残念ながら、近県では福岡・広島での上映ですが……。アレックス・シアラーは我がティーンズコーナーでも人気のある作家です。要チェック!

また、守り人シリーズでおなじみ上橋菜穂子の『獣の奏者』がアニメ放映中ですね。原作には予約がつきつつあります。予約するなら今のうちですよ!

さて、メディア情報をお伝えしたところで、今月のココロ通信は『VS大人!』。大人になるって? 親っていったい? などの疑問に答える本や、主人公たちが大人とたたかう本も選んでみました。



『断章のグリム 9』
甲田学人著 アスキー・メディアワークス TB/コカ

『みじかい眠りにつく前に 1』
金原瑞人編 ジャイブ TB/ミシ

『もしも、この世に天使が。 青の章』
山田あかね著 講談社 T/アヤ

『THE☆オーディション』 泉忠司著 徳間書店 T/イタ

『カレワラ物語 フィンランドの神々』
小泉保編訳 岩波書店 T/カレ

『封じられた街 北風のポリフォニー』
沢村鐵著 ポプラ社 T/サテ

『ウェストマーク戦記 1~3』
ロイド・アリグザンダー作 評論社 TF/アロ

『トワイライト 10』
ステファニー・メイヤー著 ヴィレッジブックス TF/メス

『この世でいちばん大事な「カネ」の話』
西原理恵子著 理論社 T159/サリ

『コブクロ』 本郷陽二著 汐文社 T764/ホヨ

『一生使える国語力 四つの力で文章が読める』
石原大作著 筑摩書房 T810/イタ





『ホー』

カール・ハイアセン著 理論社 TF/ハカ

ロイが転校してきたばかりの新しい土地で、パンケーキハウスの店が建設されることに。その建設現場では妙な事件が相次いでいた。

一方ロイは、スクールバスのバス停で、バスにも乗らず裸足で走り去る少年を見かける。弱い者いじめをするダナのこぶしと向き合いながら、謎の少年の秘密を探っていく。

2003年ニューベリー賞受賞作品。

『キッドナップ・ツアー』

角田光代作 理論社 T/カミ

わたしはユウカイされた。それも、家にいてもすれ違いで顔を合わせることが少なくなったおとうさんに……。すでに、おとうさんのこと、好きなのか嫌いなのかわからなくなっていた。

旅館に泊まったり、海で泳いだり、山道をのぼったり……。どんどん貧乏になっていくユウカイ犯との奇妙な旅が始まる。

『親のしつけ方』

ジョン・ファーマン著

みくに出版 T379/フシ

宿題、お小遣い、ファッション……ティーンズが親と衝突する場面はいくらでもある。この本は、ティーンズの言い分に寄り添って味方してくれるだけでなく、親の言い分、さらに親の上手な扱い方も教えてくれる“教科書”。

『リリとことばをしゃべる犬』

ヴァレリー・デール著 ポプラ社 TF/テハ

高速道路のサービスエリアでパパとママに置いていかれたリリ。そこで、ことばをしゃべる犬との生活が始まった。もう親なんて信じない！そして、自分がしたための日記がきっかけで、リリはとんでもないことに巻き込まれていく……。



『12歳の大人計画』

松尾スズキ著 文藝春秋 T914/マス

松尾スズキが小学6年生を相手に授業をする。テーマは「大人って何だろう?」。子どもたちの大人というものに対する率直な意見を見ていると、自分もこんなこと思っていたかも・・・と思うのでは?

まさに、子どもと大人の間にいるティーンズにこそ読んでほしい1冊。

『たたみの部屋の写真展』

朝比奈蓉子作 偕成社 T/アヨ

ユウイチの飼っているカメの家をつくるため、空き家の庭に池を掘り始めたタモツ。空き家と思われたその家には、一人のおばあさんとその娘が住んでいた。タモツは、認知症のおばあさんに息子と間違えられ・・・。

“変わらないもの”を思い出させてくれたものとは・・・。

『学生諸君！

さっそうたる明日へのメッセージ』

漱石・賢治・太宰・陽水ほか著
光文社 T159/カク

かつては若者だった、さまざまな時代、さまざまな分野の人物が今の若者にメッセージを送る。

夏目漱石から井上陽水、『ゲド戦記』の作者アーシュラ・K・ル＝グウィンのもメッセージも収録。

『わたしにとって親とは?』

新井満ほか著 ポプラ社 T159/シュ

小さい頃に父を亡くした自分が今父親になっている・・・。親になるってことはいったい何だろう?

新井満、伊藤比呂美、太田治子の3人が親についてそれぞれ描く。

『10代の哲学』シリーズの1冊。